

# 開催案内

## マンスリーセミナー

413 回	10/17 (火)	診断・治療における内視鏡技術の現状と将来	オリンパス株式会社 医療要素開発1部 開発1グループ 課長 五十嵐 誠 氏
<p>(内容) 昨今、癌の早期発見および低侵襲治療において、内視鏡の果たす役割は年々大きくなっている。しかし、従来の内視鏡では微小病変の発見や病変部の良悪性鑑別等の点で必ずしも十分とは言えない。また、内視鏡を用いた治療においては術中出血などの合併症が課題である。そこで弊社は早期診断および低侵襲治療の実現をミッションステートメントに掲げ、従来の内視鏡が抱える各種課題を改善するための様々な研究開発に取り組んできた。今回、弊社が提供する内視鏡イメージング技術や治療技術等が臨床現場でどのように活用されているかを主眼に概説する。</p>			
414 回	11/21 (火)	量子カスケードレーザの進展とその応用	浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 枝村 忠孝 氏
<p>(内容) 量子カスケードレーザは半導体量子井戸構造中に形成されるサブバンドと呼ばれる量子準位間の発光遷移を利用した中赤外領域の半導体レーザである。1994年に初めて低温でレーザ発振が報告され、2002年には室温 CW 発振が達成された。近年の環境意識の高まりから環境ガス計測を中心に各種分析装置にも実装され、急速に産業応用が進んでいる。本講演では量子カスケードレーザの動作原理から製品化までを概説し、様々な応用例を紹介する。また、THz 領域の新技术についても触れる予定である。</p>			
415 回	12/19 (火)	太陽電池セル・モジュールの最新業界動向 および技術開発動向	明治大学 特任教授 中村 京太郎 氏
<p>(内容) 今、太陽電池は大きな技術的転換点に差し掛かっている。現在の主流である従来型 (Conventional) 結晶シリコン太陽電池は広く普及しており製造コストも安いが高効率を実現することは難しい。このため Conventional 太陽電池のシェアは今後徐々に低下していくと予想される。これに対して今後シェアが伸びていくと考えられるのは裏面パッシベーション型 (Passivated Emitter and Rear Cell : PERC) や、ヘテロ接合およびバックコンタクト型といった高効率太陽電池である。特に PERC は Conventional 太陽電池に代わって今後の主流となっていくと予想される。講演では大きく変革しつつある太陽電池の技術開発動向および最新業界動向を概説する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3 番出口）  
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階  
時 間：午後 3 時 30 分～5 時 30 分  
定 員：60 名（申込先着順）  
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500 円（1 回につき・消費税込）  
一般参加：3,000 円（1 回につき・消費税込）  
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 間瀬  
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435  
E-mail：mly@oitda.or.jp